●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定状況

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値
札幌市	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	小中学校を対象に実施したアンケート調査の結果,多くの学校が、社会に開かれた教育課程や子どもたちに対する多様な学びの提供のため、地域と学校の連携・協働の体制構築が必要と答えた。一方で、体制構築に向けては、教員の負担増加等の懸念がある。また、コロナ禍の影響で学校と地域のつながりの希薄化が一層進み、地域の力を生かした学びや体験の機会が大きく減少している。	・地域学校協働活動の実施に当たっては、教員の業務負担軽減に資する取組ともなるよう、活動の中核的な人材を配置するべく、地域コーディネーターの、地域学校協働活動推進員への移行に向けたモデル検証を実施する。 ・地域人材等の活用により、休日や放課後のほか、教育課程内において、地域の力を生かした学びや体験の機会を提供する学校を増やす。	地域コーディネーターが、教育課程内における活動の調整等を担うことで、学校の負担軽減に寄与する。	地域コーディネーターが教育課程内における活動において活用された学校数。	21	校	30